

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	恵庭市子ども発達支援センター		
○保護者評価実施期間	7年2月3日		7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	87名	(回答者数) 67名
○従業者評価実施期間	7年2月3日		7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 14名
○事業者向け自己評価表作成日	7年3月15日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者同室でお子さんの支援を受けることができ、親子に寄り添った支援をおこなっている。	お子さんの様子を伝えたり、保護者からの相談にその場で対応することができます。お子さんの成長と一緒に喜び合える機会が持てる良い面があります。	
2	標準化されたアセスメントツールの活用や、専門職と連携することによって、専門的な支援の提供が可能である。	定期的に発達評価を実施し、保護者と共有しています。また支援方針を検討する際にも活用し、適正な支援につなげています。	お子さんの状況を把握するとともに、保護者のニーズを汲み取りながら、丁寧に支援してまいります。お子さんが喜んで通所し、保護者が相談しやすい関係を築いていきます。 地域で安心して生活ができるよう、関係機関との連携を今後も進めていきます。
3	地域の関係機関との連携を積極的に図っている。	保育所等に訪問したり、支援会議で園と情報交換する機会を持ち、共通理解を図っています。また、小学校との連携も積極的に行っており、見学や引継ぎをしています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画的に質の高い支援を提供するために、専門的な支援の充実を図ることが必要である。	お子さんの適切な支援や保護者の相談に対応するためには、人材育成が必要と感じています。	研修等の積極的な参加で、職員の研鑽する機会を作り人材育成を図ります。 支援の在り方を職場内で検討するなど、質の高い支援が継続して提供できるよう努めてまいります。
2			
3			